

7. ITI 財別貿易マトリックス

ITI は、世界貿易の動向をより詳細に把握できる「財別貿易マトリックス」を作成した。本資料は世界 36 カ国・地域（下記参照）の貿易統計を利用することにより、年次マトリックスを翌年の 6～7 月頃に作成することができる。2001 年度は 98～2000 年の 3 年分を作成した。

各国・地域の貿易統計を利用した財別貿易マトリックスでは、財別の世界貿易額が取れないために次の方法にて世界貿易額を作成している。（なお下図では、貿易統計を利用した国・地域を「対象国」、そうでない国・地域を「非対象国」としている。）

〔財別世界貿易額の作成方法〕

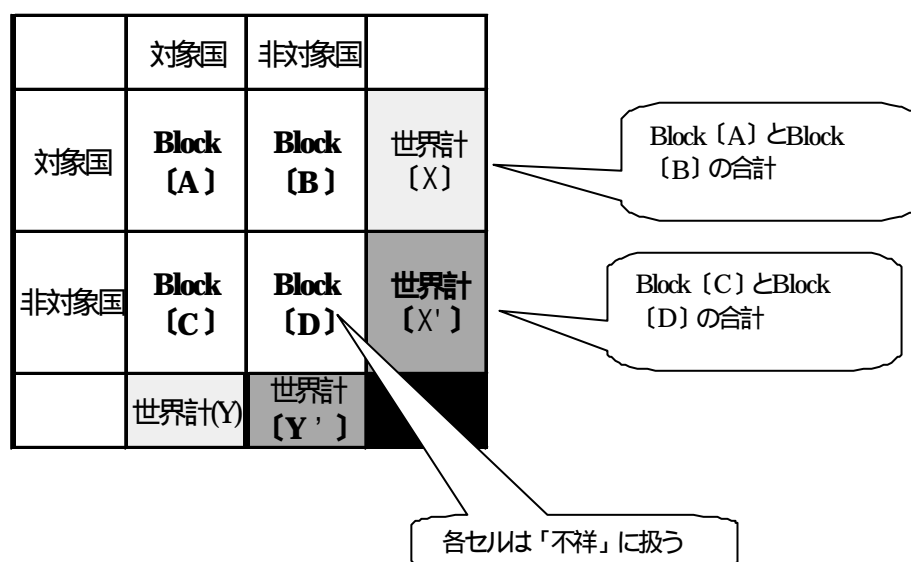
世界計〔X'〕および〔Y'〕を作成し、世界計の総和を世界貿易額とする。

〔X'〕〔Y'〕を作成するため、以下の仮定を設ける。

(ア) 〔C〕については、対象国の貿易統計から、「非対象国からの輸入額」を国別に抽出した。（この際、CIF の場合は FOB に変換）

(イ) 〔D〕については、「不詳」として扱う。

各セルの総和が世界貿易総額となる。



貿易統計を利用した国・地域、及び財分類は以下の通り。

〔36 カ国・地域〕

日本、米国、カナダ、ドイツ、フランス、英国、イタリア、オーストリア、ベルギー、デンマーク、フィンランド、アイルランド、オランダ、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、ルウエー、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、中国、韓国、台湾、香港、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ロシア、メキシコ、ブラジル、チリ、コロンビア、トルコ、南アフリカ

〔財分類〕(HS コードにて分類)

総額、機械機器、一般機械、電気機器、輸送機器、精密機器、自動車、乗用車、自動車部品、鉄鋼、鉄鋼の1次製品、鉄鋼製品、化学品、化学工業品、医薬品・医療用品、プラスチック・ゴム、合成繊維・同織物、衣類、鉱物性燃料、石油・同製品

本資料のポイントは、以下の点である。

財別貿易マトリクス作成のスピード

これまで、財別の世界貿易の姿は国連などの国際機関の統計から把握可能であったが、データの発表まで1～2年とかなりの時間を有した。本資料は「不詳」と取り扱われる項目も多いものの、主要貿易国・地域の貿易統計を利用していることから、実態に近い財別の貿易動向を半年程度のタイムラグで把握することが可能である。

共通した財分類

基本的に財の分類はHS(国際統一商品分類)の2桁を利用することにより、各国・地域で共通した財分類となった。

途上国の財別貿易動向の把握

一般に途上国の財別貿易統計は把握が難しいが、輸入国側からデータを把握し積み上げるにより輸出国の財別貿易統計の実態に近い姿を把握することは可能である。本資料は米国、EU 主要国、日本のほか、東アジア主要国・地域の貿易統計も網羅しており、データの少ない国々の財別貿易の貿易動向を見て取れる。

地域経済圏の財別貿易動向の把握

NAFTA、EU、東アジア、メルコスールなど主要な地域圏あるいは地域経済圏については特に項目を作成し、地域経済圏の域内・域外貿易動向を財別に分析することも可能である。